

新年の抱負

自由民主党

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年、コロナ禍や世界各地で勃発する紛争などの影響により、国内の経済環境や社会構造が大きく変化しています。

国内経済では、コロナ禍の影響から脱し企業収益が過去最高を更新して企業活動は堅調に推移し、緩やかな回復が続いている。一方、家庭では名目賃金の伸びが物価の上昇に追いつかず、物価・エネルギーコストの高騰が長引き、区民生活にも大きな影響を及ぼしています。また、少子化や若年層の流出が進むなど、将来的な地域社会の活力低下が懸念されています。

こうした状況において、地域経済の活性化や雇用の創出、子育て支援、福祉の充実等、足元を固める政策の推進・充実が急務であると認識し、これまででも区に対して様々な要望を行ってきました。

引き続き、区民の皆様が安全に安心して幸せな生活を送ることができるよう、これまで以上に区

政運営において選択と集中を徹底し、喫緊の課題である災害対策を始め、公共施設等の整備・建て替えなど中長期的な視点も持って必要な取り組みを積極的に行い、将来につながる取り組みを確実に前進させてまいります。

私たち自由民主党荒川区議会議員団11名は、このような認識の下、425項目にわたる令和7年度予算要望書を滝口学区長に提出しました。本年も、区民生活の一層の向上と安心して暮らし続けることができる地域づくりに向け、全力を尽くしてまいります。



▲新
進む
荒川区役所本庁舎
整備の検討が
始まっています

公明党

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私たち公明党は、昨年、皆様の暮らしを守るために非課税世帯への「10万円給付」に加え「4万円」の定額減税を実施し、さらに定額減税の恩恵を受けられない方々への減税対策も行いました。荒川区では、小児用インフルエンザワクチン助成や、65歳以上の方へのコロナワイルスワクチン接種の無償化を実現いたしました。

本年は、長引く物価高騰により、物価高の影響が大きい低所得世帯に給付金を支給することや、電気・ガス料金やガソリン代への支援を継続することを政府に提言し、具体的な施策に取り組んでまいります。

また、未曾有の少子高齢化が進む中、所得制限を

撤廃し児童手当を拡充する一方で、荒川区においては認知症等が原因で外出中に行方不明になるおそれのある高齢者等のための見守りシール交付のほか、認知症の高齢者の故意ではない事故等に備えるため、個人賠償責任保険事業も開始しました。

私たち公明党は、昨年結党60年を迎えました。これまで以上に区民の皆様に寄り添った責任ある政治を行ってまいります。



▲あらかわ見守りシール

ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年11月の荒川区長選挙において、新たに滝口学区長が就任されました。われわれ荒川区議会は、議会基本条例前文において「区長とともに、二元代表制の一翼を担い」「議論を通じて最良の意思決定を行うことで、区民とともに区の将来を築く重い責務を負っている」と謳っています。

その自覚を新たにし、区民の声を的確に捉え、区民生活向上につながる施策の展開へ向け、区長はじめ区職員と議論を重ね、政策を練り上げ、昇華させて参ります。

物価高騰の影響が区民生活、区の事業に及んでいます。こうした時だからこそ、区民に寄り添った支援策の充実や、区施策の改善がより必要である

るとの視点に立ち、新年度に向けての予算要望書を滝口学区長へ昨年提出を致しました。これらの施策を実施につなげ、「荒川区で子育てをしていて良かった、商売をしていて良かった、年を重ねて良かった」と実感の出来る荒川区政へ向けて、清水ひろし、竹内あきひろ、宮本しゅんま、大月たけひろ、山本ごう、花沢あきのぶの「ゆいの会」6人は本年も活動を進めて参ります。



日本共产党

あけましておめでとうございます

2025年を暮らしと平和に希望のもてる年へ、
みなさんと一緒に力を尽くします。昨年、国政
でも区政でも新しい政治の変化が生まれています。区政でも暮らしに希望を開くため、いま荒川
区の役割が問われています。日本共産党区議団は、
区民アンケートなどで寄せられた●学用品の無償
化●23区で一番高い介護保険料を引き下げ●高
齢者、ひとり親世帯などに家賃助成●区独自で在
宅高齢者生活援助サービス●区立幼稚園の廃園凍
結●学童クラブと“にこにこすくーる”の施設整
備と質向上●区独自の保育士増配置●障害者のグ
ループホーム建設●ジェンダー平等の推進●公契

約条例の制定●「さくらバス」は廃止ではなく拡充…など555項目の予算要望を提出、実現へ向けてがんばります。いまこそ日本国憲法の国民主権、基本的人権、生存権、平和主義など基本理念を守り、生かすことが求められています。何よりも住民が主人公、区民の声で区政動かす立場を貫いてまいります。引き続くご支援をお願いします。



立憲民主黨

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年11月に20年ぶりに新区長が誕生し、新たな政策や方向性が示されていくなか、立憲民主党荒川区議団といたしましては、これまで同様地域を歩き、皆様のお悩みやお困りごとに耳を傾け、区民本位の立場から課題解決出来るよう行政に対し様々な提案・提言をしてまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

維新・子育ての会

☆謹賀新年☆ 今年も私は子ども達の“生きる力”をパワーアップさせるべく様々な角度からアプローチして参ります。子ども達の生きる力とは即ち“遊びぬく力”です。『遊びを軽んずる勿れ』

